

様似町 DX 運用支援及び DX ロードマップ作成支援業務仕様書

1. 業務の目的

本業務は、本町における DX 推進を計画的かつ継続的に実施するため、庁内業務及び行政サービスに係る課題を整理・可視化するとともに、課題の優先順位を踏まえた DX ロードマップを作成することを目的とする。

また、次年度以降の施策実装、予算編成及び事業化を見据え、実行可能性及び段階的導入を意識した DX 施策の整理を行い、町として「次に何に着手すべきか」を判断できる状態を整えることを目的とする。

2. 業務の位置付け

本業務は、DX ロードマップという成果物の作成を主目的とするものではなく、専門的知見に基づく助言及び伴走支援を通じて、発注者の施策検討、庁内調整及び意思決定を支援する性質の業務とする。また、本業務は、次年度以降に予定される DX 施策の具体検討及び実装支援業務へ円滑に移行するための基盤づくりとして位置付ける。

3. 業務内容

(1) 課題抽出・整理支援（実装を見据えた課題整理）

受託者は、次年度以降の施策実装を見据え、以下の観点から課題抽出及び整理を行う。

① 事前整理

- ・ 総合計画、DX 推進計画、情報化推進計画等の既存計画の整理
- ・ 国の自治体 DX 推進方針、標準化・共通化の動向を踏まえた留意点整理

② 原課ヒアリング支援

- ・ 全原課または指定原課を対象としたヒアリングの実施支援
- ・ 業務上の非効率、属人化、制度的制約等の抽出
- ・ デジタル化・DX による改善可能性の把握

③ 課題の実装視点での整理

- ・ 原課共通課題と個別課題の整理
- ・ 「短期で着手可能な課題」と「中長期検討が必要な課題」の切り分け
- ・ 実装にあたり想定される制約（体制・制度・予算・技術）の整理

(2) DX 施策案の具体化支援

受託者は、抽出した課題をもとに、次年度以降の実装を見据えた DX 施策案の整理を行う。

- ・ 各課題に対応する DX 施策案の整理

- ・施策ごとの目的、期待効果及び対象範囲の明確化
- ・実装に向けた前提条件（体制、関係課調整、外部委託の要否等）の整理
- ・小規模導入、段階的導入（PoC、試行導入）の可能性整理

（3）DX ロードマップ作成支援（実装フェーズ接続型）

受託者は、DX 施策案をもとに、以下の観点から DX ロードマップ作成を支援する。

① 優先順位付け

- ・効果、実現性、費用感、職員負荷等を踏まえた整理
- ・次年度に向けた優先施策の明確化

② フェーズ別整理

- ・短期（次年度実装候補）
 - ・中期（検討、準備フェーズ）
 - ・長期（将来的検討テーマ）
- といった時間軸で整理したロードマップ案の作成

③ 次年度実装を意識した整理

- ・次年度予算化、事業化が想定される施策の切り出し
- ・実装段階で必要となる検討事項の整理
- ・実装支援業務へ引き継ぐべき論点整理

（4）庁内共有・合意形成支援

- ・発注者との定期的な協議、打ち合わせ
- ・ロードマップ案に関する庁内説明、共有に向けた整理支援
- ・意見を踏まえた調整及び修正

4. 成果物

成果物は以下を基本とする。

- ・課題整理資料
- ・DX 施策整理資料
- ・DX ロードマップ

※成果物の形式・粒度については、発注者と協議のうえ決定する。

5. 業務の進め方

本業務は、発注者と密に連携し、段階的に整理、検討を進めるものとする。

特に、次年度実装を見据えた論点については、発注者が判断しやすい形で整理することを重視する。

6. 留意事項

- ・町の体制及び予算状況を十分に考慮すること

- ・国、道の制度改正等の動向を踏まえ、柔軟に整理内容を見直すこと
- ・本業務で得られた整理結果は、次年度以降の DX 実装支援業務に活用できるものとする。